

- 1 チルチルとミチルは青い鳥を探し、未来の王国を訪ねる。
- 2 メーテルリンクの戯曲「青い鳥」の一場面である。
- 3 生まれる前の子供たちが、誕生の順番を待っていた。
- 4 “時”の番人が地上との間を往復しては、子供たちを船に乗せ、連れて行く。
- 5 皆が希望と好奇心に満ちて乗船する中に一人、▼  
「生まれたくない」と手こずらせる子供がいた。
- 6 拒む理由は明かされない。
- 7 クローン人間の話題に接するたびに、その子のことが頭に浮かぶ。
- 8 「クローン動物には心肺や免疫などの機能に、何らかの異常が認められる」と▼  
クローン羊の生みの親、ウィルムット博士は述べている。
- 9 神の領域を侵す、侵さないの以前に、未成熟な技術である。
- 10 フランス人の科学者が、世界初のクローンベビーが誕生したと語った。
- 11 女兒ということだが情報に乏しく、信憑性を疑う専門家も少なくない。
- 12 別のイタリア人医師も来月に出産させることを明らかにしている。
- 13 クローン女兒誕生の真偽は定かでないが、安全性を置き去りにした▼  
一番槍の功名争いに一部の科学者が血眼になっているのは確かだろう。
- 14 駄々をこねる子供を“時”の番人は促した。
- 15 「死ににいくのじゃない、生まれにいくのだぞ」……。
- 16 実験動物のように扱われる人間の「生」は「死」以上に過酷であろう。
- 17 戯曲では、未来の王国に青い鳥はいなかった。